

芸術の秋

町内に文化の花開く

虻田地区、洞爺地区それぞれで、文化祭が開催され、芸術の秋を彩りました。

虻田地区で開かれた洞爺湖町総合文化祭（洞爺湖文化団体協議会へ越前谷邦夫会長）主

催しは、ステージと展示の2部門で開催。

10月26日、27日の両日には、

あぶたふれ合いセンターでステージ部門発表会が行われ、満員の観客の前に、歌や踊りが披露されました。

一方展示部門は、11月2日～4日の3日間、

母と子の館で開かれ、菊の展示をはじめ各種サークルなどの作品が多く並べられました。その他町民囲碁大会や虻田吹奏楽団の定期演奏会なども催されました。



町民文化祭—澄んだ歌声を披露したフラワーピーンズの皆さん

洞爺地区でも、洞爺湖町民文化祭（とうや文化協会へ村上隆昭会長）主催の展示部門が、11月2日～4日の3日間洞爺総合文化センターで開催され、絵手紙、写真、書道など多くの作品が展覧さ

れました。

11月23日には、芸能発表会が同センターで開かれ、楽器演奏や合唱、踊りなどが披露されました。

当日協賛バザーとして行われた手打ち蕎麦の販売も好評で、会場となった和室において笑い顔が広がっていました。

年に1度の特別展 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ展開催

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ特別展が、11月6日から30日の期間、洞爺湖芸術館で開催されました。旧洞爺村で平成5年に、小型彫刻国際公募展として同ビエンナーレが始まり、合併後の平成19年を最後に休止となりました。

平成21年からは、年に1度、個人や企業が購入した作品を借用して展示する特別展を実施しています。

今回は、日本をはじめエジプト、フィリピンなど9カ国の作家の作品17点を展示しました。

同展終了後の12月1日から来年の3月31日まで冬季閉館となります。



彫刻に見入る来館者



総合文化祭—賑やかに踊る洞爺湖小唄保存会の皆さん

広 告

広 告